

平成18年度  
Eスクエア・エボリューション  
OpenSchoolPlatform  
京田辺市地域プロジェクト最終納品

---

# 研修計画書

---

平成19年2月

株式会社内田洋行

この計画書では、OSS環境導入時の研修に関して説明しています。  
具体的には、下記の項目を説明しています。

	ページ
• 必要な研修と内容	
活用研修	3
個別研修	4
環境構築研修	4

※ Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録または登録商標です。

※ その他のソフトウェア、パッケージ、ディストリビューション、製品などの名称は、一般に開発者または、各社の各国における商標または登録商標です。

※ 本書の中では®、©、™などの表記をおこなっていません。

## 必要な研修と内容

OSS環境導入に必要な研修と内容は以下の通りです。

研修名称	対象者	実施時期	回数 時間数	対象 人数	研修内容	利用教材
活用研修	対象校教員	環境構築後 なるべく早い時期	2回・2時 間/校	20～30名	OSやアプリケーションの使用方法について	活用マニュアル
個別研修	対象校教員	随時	1回・任 意	希望者	随時、希望内容で個別研修を行う。	活用マニュアル
環境構築研修	教育委員会 対象校の 情報担当教員	サポートを担当している企業から教育委員会へ引き継ぐ時期	1回・2時 間	10名程度	OSSデスクトップ環境の構築について	導入マニュアル

### 活用研修

**時期** : 環境構築後すぐ

**場所** : 導入校職員室

**時間・回数** : 放課後 2時間程度 x 各校2回

**内容** : USBブートによるOSS環境の操作

校務システムの操作

**ポイント** : 職員室にプロジェクタを設置し実施。

各教職員には実際に各自のPCで操作をしてもらいながら

講習を行った。(事前に全員のIDを登録しておくこと)

校長先生・教頭先生等 承認権限を持つ先生方には別途個別に補足説明を行う必要がある。

教職員全員が一度に集まることは難しい為、同じ内容の研修を2回行い、どちらかに出席できるようにする。両方に出席することで理解の定着を図ることもできる。

### 個別研修

**時期** : 申込みがあれば随時

**場所** : 導入校 パソコン教室・職員室等

**時間・回数** : 随時 1回1時間程度

**内容** : 使用予定のアプリケーションソフトの操作方法等

**ポイント** : 授業サポートとセット。授業サポートの事前打合せの際、必要に応じて行う。児童・生徒用PCで使用するアプリケーションについては、現在使用している非OSS環境とほぼ同様であることから集合研修は行わず、授業サポートと合わせ、個別対応を行った。

### 環境構築研修

**時期** : サポートを担当している企業から教育委員会へ引き継ぐ時期

**場所** : 教育委員会

**時間・回数** : 2時間程度 x 1回

**内容** : 環境構築・運用管理等

**ポイント** : 企業側メンバが行った内容を教育委員会・導入校情報教育担当へ引き継ぐ。

次年度以降、教育委員会のみで運用ができるようにすること